

平成20年6月11日

ソニー生命保険株式会社

「ソニー生命カップ 第30回全国レディーステニス大会」へ協賛 ～地域社会とのコミュニケーションをめざして～

ソニー生命保険株式会社(社長 於久田 太郎)は、女子アマチュアテニス大会では日本最大規模を誇る「ソニー生命カップ第30回全国レディーステニス大会」に対し、今年度もボランティア活動で大会を支援するとともに協賛を行います。

本大会は、女性の健康増進および市民スポーツとしてのテニスの発展を目的とし、今年で第30回を迎える伝統ある大会です。毎年、全国各地で手に汗にぎる熱戦と感動の試合がくりひろげられます。本大会は、1979年より開催され、通算での参加者数は延べ30万人を超えます。

今年は、「第30回」を記念して、「30周年記念特別枠」を設けました。11月に行なわれる全国決勝大会では、各都道府県47代表チームに加えて、「30周年記念特別枠」の3チームを加えた計50チームでの団体トーナメント戦となります。

各都道府県大会では、ライフプランナーをはじめとした当社社員が、地域社会に貢献することを目的として、積極的にボランティア活動を行い、大会を支援しております。これからも当社は、社会貢献活動を積極的に推進してまいります。

1. 都道府県大会における当社の主なボランティア活動

各都道府県大会では、当社のライフプランナー(営業社員)が中心となって様々な工夫をこらし、ボランティア活動を行うことによって、参加者と一緒に汗を流しながら大会を支援しております。

各都道府県の担当支社では、大会支援ボランティア活動の先頭となるチームリーダーを中心に、前回の大会では、次のような活動を行いました。

和歌山県大会では、九月の残暑厳しい炎天下、カキ氷や応援用のうちわを無料配布したり、試合の合い間にお楽しみ抽選会を行うなどして、大会を盛り上げました。北海道大会や長野県大会では、会場の設営やコート整備などを行いました。また、大会が真夏の炎天下で行われるため、鹿児島県大会や沖縄県大会など多くの大会で、カキ氷・飲料水や応援用のうちわを無料配布するなどし、参加者やご家族の方々にも大変喜ばれました。

今回の大会でも、ライフプランナー独自のアイデアで様々な支援活動を行い、地域社会とのコミュニケーションを積極的に図ってまいります。



(写真:前回の大会でのボランティア活動の様子)

2.大会概要

- (1) 試合方式 種目は女子ダブルスで、各都道府県単位で「都道府県大会」を実施し、上位3ペアをもって都道府県代表チームを結成し「全国決勝大会」に出場します。
全国決勝大会は、各都道府県代表47チームによる団体トーナメント戦となります。
今年は第30回の記念大会にあたるため、「30周年記念特別枠」の3チームを選び、あわせて50チームが全国決勝大会に出場します。
- (2) 大会日程 都道府県大会 平成20年 8月19日(火)～10月初旬
全国決勝大会 平成20年11月 4日(火)～11月7日(金)
11月4日は監督会議、ドロー抽選・親睦会
全国決勝大会会場:東京都昭島市 昭和の森テニスセンター
- (3) 主 催 (財)日本テニス協会 ・ 朝日新聞社
- (4) 後 援 (財)日本体育協会・日刊スポーツ新聞社・テレビ朝日系列各局・朝日ニュースター・各都道府県テニス協会
- (5) 主 管 日本女子テニス連盟 ・ 各都道府県支部
- (6) 協 力 ヨネックス株式会社
- (7) 協 賛 当社

以 上